

テーマ／家庭教育支援のためのプログラム

2 ○○市（町）パパ・ママ応援隊員として第一歩を踏み出そう！（7回連続講座）

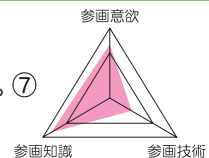
参加対象：家庭教育支援に関心のある方、または家庭教育支援をしている方

募集人員：10～20名程度

会場：公民館やコミュニティセンター、子育て支援センター等

養われる
地域
参画力

- 自らの知識や経験などを地域のために生かそうとすること。④
- 自分だけが一方的に話さずに、相手の話にしっかり耳を傾けられること。⑦
- 地域で活動している人や団体に関する情報を持っていること。⑭



講座全体のねらいと流れ

親自身の成長や親子関係の構築を支援するパパ・ママ応援隊員として必要な知識や技術を学び、地域の家庭教育応援隊員として第一歩を踏み出すことをねらいとする。

回	テーマ	学習内容・方法
1	参加者どうしのハッピーコミュニケーション	[ワークショップ] 受講者どうし交流を深めよう！
2	子どもの育ちを理解するために	[講話] 子どもの心の成長や発達課題、発達障害
3	現在の子育て事情	[講話] 親育ち・子育ての現状と今、親が求めている家庭教育支援
4	よりよい話のきき方	[ワークショップ] 対人対応力アップを目指して ～よりよい話のきき方～
5	インタビューフォーラム inパパ・ママ応援活動	[活動事例紹介] パパ・ママの親育ち・子育てを応援をしている団体（人）の活動発表
6	見てみよう！パパ・ママ 応援活動	[自主現地研修] 第5回講座で発表した団体（人）の実際の活動等を見学しよう！
7	私にできるパパ・ママ 応援プラン	[ワークショップ] 私のパパ・ママ応援アクションプランを作ろう！



テーマ / 家庭教育支援のためのプログラム【連続講座】

【第1回】「参加者どうしのハッピーコミュニケーション」



養われる
地域
参画力

- 自分だけが一方的に話さずに、相手の話にしっかり耳を傾けられること⑦

第1回講座のねらいと流れ

参加者どうしがうちとける雰囲気づくりのためのアイスブレイクに始まり、お互いを知るための自己紹介と互いの良さを認め合うアクティビティを通し、交流を深める。

アクティビティ①	じゃんけんゲーム	【15分】
アクティビティ②	知り合いの輪を広げよう	【50分】
アクティビティ③	すてきメッセージを贈ろう	【25分】
アクティビティ④	ふりかえり	【10分】

じゃんけんゲーム 【15分】

準備物 名札

ねらい

どのような人が講座に参加しているかを知ると共に、和やかな雰囲気をつくる。

- ① 2人組になり自己紹介をする。

【手順】

- ・よろしくをお願いしますの握手→互いに自己紹介をする→じゃんけんを1回する→ありがとうございましたの握手

【ルール】(あいこでポイントゲット)

- ・あいこの場合、両者互いに1ポイントゲット。それ以外は両者互いにポイントなし。

- ② どんどん自己紹介を続け、5ポイントになった人から順番に並ぶ。
- ③ 全員が並び終わったら感想等インタビューをする。

アドバイス

ルールは、勝ってポイント、負けてポイント等いろいろあります。

参加人数に応じて、ポイント数は設定しましょう。

アドバイス

じゃんけんは1回とすることで、多くの人と知り合うことができます。

遅く並んだ人が嫌な思いをしないような配慮をしましょう。

(例)たくさんの方と知り合いになれてラッキーでしたね。

知り合いの輪を広げよう

【50分】

ねらい

「つながりさがし」や「ジグソーパズル」によって様々なグループをつくり、自己紹介をしながら交流を深める。

- ① ファシリテーターが挙げたテーマに従い、当てはまるものをひとつ選び、グループに分かれる。
 - ・好きな季節 (春・夏・秋・冬)
 - ・好きな色 (白・赤・青・きいろ)
 - ・好きな果物 (りんご・ぶどう・いちご・なし)
 - ・好きなおでんの具 (大根・はんぺん・卵・ちくわ)
 - ・今行きたい場所 (映画・買い物・山・海)
- ② 1で輪になりテーマに基づいて自己紹介をする。
(例) ○○○○ (自分の名前)
なぜ春が好きかというと… (理由)
- ③ 自分が選んだパズルのピースと同じ絵や写真の一部を持っている人を探す。
- ④ 3でグループを作り自己紹介をする。

準備物

絵や写真をもとに作成したパズルピース(人数分)

🔍 アドバイス

ひとつのグループの人数が多くなった場合は、いくつかに分けましょう。

グループの人数が1名または2名程度と少ない場合は、“チェンジタイム”を設け、他のグループに移動するという方法もあります。

🔍 アドバイス

話をする時間は予め伝えましょう。

ジグソーパズルは、1グループの人数が4～5名になるよう作成しておきましょう。

すてきメッセージを贈ろう

【25分】

ねらい

グループ内においてお互いの良さを認め合い、相互理解を深めると共に仲間意識を育成する。

- ① グループは「アクティビティ②」最後のグループとする。
- ② すてきメッセージシート(P79)に自分の名前を記入する。
- ③ ファシリテーターの合図に従い、右(左)隣の人にすてきメッセージシートを裏に返して渡す。
- ④ 手元に来た、すてきメッセージシートの持ち主に對し、その人の雰囲気や服装、髪型等すてきだなあと思ったこと等を記入する。
- ⑤ グループ内全員への記入が終了するまで、③と④を繰り返す。
- ⑥ ファシリテーターの合図で一斉に、自分へのすてきメッセージシートを読む。
- ⑦ 自分に贈られたすてきメッセージを読んだ感想をグループ内で発表しあう。
- ⑧ ⑦について全体で共有する。

準備物

すてきメッセージシート (P79)

🔍 アドバイス

すてきメッセージの内容は、初めて出会った人同士であっても、自己紹介から感じたこと等とともに、必ず何か記入することができます。すてきだなと思うことをより多く見つけるよう努めましょう。

さらに、お互いが知り合いであれば、その人の性格や行動等についても触れることができますね。

テーマ／家庭教育支援のためのプログラム【連続講座】

【第4回】「よりよい話のきき方」



養われる
地域
参画力

●自分だけが一方的に話さずに、相手の話にしっかり耳を傾けられること⑦

第4回講座のねらいと流れ

家庭教育支援者に求められる対人対応力のひとつである「話をきく」力を向上させる。

- アクティビティ① グルーピングのためのアイスブレイク・自己紹介 【10分】
- アクティビティ② いろいろな「話のきき方」体験 【30分】
- アクティビティ③ アクティブリスニング(積極的傾聴)体験 【30分】
- アクティビティ④ 相手の気持ちに寄り添う「話のきき方」〇ケ条を作成しよう 【50分】

いろいろな「話のきき方」体験 【30分】

準備物

秒針のある時計
黒板または
ホワイトボード

ねらい

いろいろな「話のきき方」の体験を通し、相手の気持ちに寄り添う「よりよい話のきき方」について考える。

アドバイス

黒板にローテーションを書き出しておくといよいでしょう。

アドバイス

いろいろな[話のきき方]を体験することがねらいであるので、役割分担に従い、最後まで演じるようお願いしましょう。

- ① 聞き手A～C、話し手に分かれる。
聞き手A：ただきく(うなずいたりしない)
聞き手B：〇〇〇〇しながら顔を向けずに「きく」
(例)携帯電話を見ながら お茶を飲みながら
聞き手C：相手の顔を見て熱心に「きく」
(相づち・うなずき・相手の話を遮らない質問可)
話し手：「好きな食べ物」か「思い出の場所」のどちらかを選び、1分間話をする。
- ② 全員が、話し手→きき手A→B→Cを体験するようローテーションする。
- ③ グループ内で、②の体験について感想を発表しあう。
- ④ ③について全体で共有する。

アクティブリスニング (積極的傾聴) 体験 【30分】

準備物 特になし

ねらい

アクティブリスニング(積極的傾聴)の体験を通し、相手の気持ちに寄り添う「よりよい話のきき方」について考える。

- ① 2人組になり、それぞれ話し手ときき手に分かれる。
 [話し手]: テーマについて、5分間話をする。
 [きき手]: 相手に共感しながら話を一生懸命に聴く。
 (相づち・うなずき等しながら)
 話を広げたり、深めるための適度な質問をしながら話を聴く。
 [5W1H]
 いつ? (When) どこで (Where)
 だれが (Who) 何を (What)
 なぜ (why) どのように (How)
- ② 話し手・きき手を交代し、実施する。
- ③ グループ内で①・②の感想や話をきいてくれた相手の良かったところについて話し合う。
- ④ ③について全体で共有する。

アドバイス

相手がリラックスして話ができるような雰囲気づくりに努めましょう。
 相手の話を遮らないように質問はしましょう。

アドバイス

テーマは話しやすい内容にしましょう。
 (例)行ってみたい場所
 最近あった嬉しかったこと
 もし100万円当たったら
 おすすめの店
 私の出会ったすてきな人
 私のこだわり

相手の気持ちに寄り添う「話のきき方」〇ケ条を作成しよう

【50分】

ねらい

相手の気持ちに寄り添う「話のきき方」のポイント〇ケ条をグループで作成する。

準備物

方眼模造紙、マジック、付箋紙

- ① 「アクティビティの②・③」を通し、相手の気持ちに寄り添うための「話のきき方」のポイントだと思ふことを付箋紙にどんどん書き出す。
 (例)相手の話を途中で止めない
- ② ①について分類し、「話のきき方」ポイント〇ケ条を作成する。
- ③ 作成した②をグループごとに発表する。

アドバイス

まずは付箋紙に思いつくことをどんどん書き出しましょう。
 〇ケ条は、何ケ条でもよいこととしましょう。

アドバイス

発表時間が短い場合は、各グループで作成したものを、回覧する方法もあります。

付随して期待される効果

「話のきき方」だけでなく、「話し方」のスキルアップにもつながり、コミュニケーション能力が向上することが期待できる。

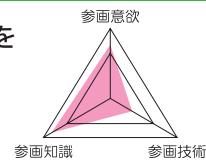
テーマ／家庭教育支援のためのプログラム【連続講座】

【第5回】「インタビューフォーラムinパパ・ママ応援活動」

120分

養われる
地域
参画力

- 地域で活動している人や団体・組織などに関する情報を持っていること⑭



第5回講座のねらいと流れ

インタビューフォーラムを通し、実際に地域でパパ・ママの親育ち・子育てを応援している団体（人）の活動を知り、今後の活動のヒントやきっかけとする。

- | | |
|--------------------------|--------|
| アクティビティ① 発表者とコーディネーターの紹介 | 【10分】 |
| アクティビティ② インタビューフォーラム | 【100分】 |
| アクティビティ③ ふりかえり | 【10分】 |

インタビューフォーラム

【100分】

ねらい

地域でパパ・ママの親育ち・子育てを応援している団体（人）の活動を知ることができる。

準備物

発表団体に一任
事例発表をメモする
用紙

- ① 4～5人のグループに分かれる。
- ② 各団体（人）から活動の事例を聞く。
- ③ ②の事例を聞いた感想や質問・疑問点等について、グループ内で話し合う。
- ④ コーディネーターの進行のもと、インタビューフォーラムに参加し、各団体(人)の活動事例に関する理解を深める。

[発表団体（人）]（例）

- ・家庭教育オピニオンリーダー
- ・子育て支援センター
- ・親学習プログラム修了者
- ・子育てサークル
- ・ファミリーサポートセンター 等

👁️ アドバイス

発表時間は、発表団体（人）数に応じて設定しましょう。
事前に担当者はコーディネーターや発表者と十分打ち合わせをして、臨みましょう。

付随して期待される効果

事例を発表した家庭教育支援団体（人）間のネットワークの構築が期待できる。

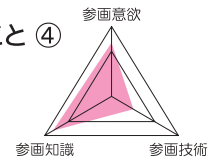
テーマ／家庭教育支援のためのプログラム【連続講座】

【第7回】「私にできるパパ・ママ応援プラン」



養われる
地域
参画力

●自らの知識や経験などを地域のために生かそうとすること ④



第7回講座のねらいと流れ

講座を通して学んだことを地域の家庭教育支援活動にどのように生かしていくか、各自が具体的なアクションプランを作成し、活動に踏み出す一歩とする。

- | | | |
|----------|---------------------|-------|
| アクティビティ① | アイスブレイク | 【10分】 |
| アクティビティ② | 私のパパ・ママ応援アクションプラン作り | 【80分】 |
| アクティビティ③ | 全体で発表会 | 【30分】 |

私のパパ・ママ応援アクションプラン作り

【80分】

ねらい

講座をふりかえりながら、私のパパ・ママ応援アクションプランを具体的に作成することができる。

準備物

ワークシート

- ① 講座を通して学んだことや感じたこと等をふりかえり、グループで感想を話し合う。
- ② ①について全体で共有する。
- ③ 自分がこれからやりたいと思う「私のパパ・ママ応援アクションプラン」を作成する。
※ワークシート例：“私のパパ・ママ応援アクションプラン”
[プラン1]: 私がこれからパパ・ママ応援隊員としてやりたいこと
(例)親学習プログラムのファシリテーターになる。
[プラン2]: プラン1の実現のための具体的な行動計画
(例)総合教育センターで〇月〇日から始まる、親学習プログラム指導者研修を受講する
- ④ ③で作成した応援アクションプランをグループ内で紹介しよう。

アドバイス

プランは、なるべく具体的な言葉で表現しましょう。

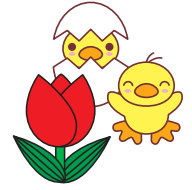
- ・いつ
- ・どこで
- ・何を
- ・どうする 等

付随して期待される効果

受講生同士の交流が深まると共に、新たにグループを立ち上げる受講生が出てくることが期待できる。

() さんへ

すてきなメッセーヅ



A large rectangular frame with a decorative border of green dots. Inside the frame, there are four large circles, each outlined with blue dots, arranged in a 2x2 grid. In the center of the frame, there is an illustration of two white daisies with yellow centers and a red strawberry with green leaves.